

◎安田豆作賞

「雪の日々」 日下部安曇＝くさかべ・あずみ（札幌市） まなざしや雪の彼方の小世界

◎五十嵐秀彦賞

「寂光土」 瀬川青猿＝かゆかわ・せいえん（河東郡音更町） 浜近き旧家おぼろの磨りガラス

◎平原一良賞

「仮眠室」 栗山麻衣＝くりやま・まい（札幌市） 流星や魚の耳石に細き線

■入選 12人

「八月十五日」 菊池俊之（札幌市） 潜むもの地に潜ませて枯尾花
「白鳥を迎えに」 鹿岡真知子（札幌市） あかるさも寂しと思う夏帽子
「雪紋」 井上絃（札幌市） イヤホンはずれ制服は東風はらむ
「森は秋」 安田中彦（札幌市） 算数の時間水吸ふヒヤシンス
「生生流転」 三輪禮二郎（札幌市） さきがけは燃ゆる色なり木の芽山
「五月十一日」 小林ろば（上川郡東川町） 井手郁子さん逝きし日わたし生まれた日
「普通のひと日」 佐藤まゆみ（札幌市） 春の風邪書棚の中の七福神
「ときどき明るい」 井口可奈（東京都） 梨を切るけして光らせないように
「はるかな国」 奈良香里（愛媛県松山市） 戦場にたまゆらの冬日向かな
「あいする」 平田莉々（旭川市） 冬の宵カーラジオから愛の歌
「腹這ふ」 瀬名杏香（東京都） 手帳より切手こぼるる目借時
「菘まぐれ」 堀下翔（茨城県つくば市） 瀬に載りて花失せたるよ萩一枝

*以下、選外ですが、入賞・入選に準ずる優れた作品であるとして「佳作」といたしました。

佳作 64人

「颯起の血」 尾内以太（静岡県浜松市） 天井へ田螺の息を輝かす
「香料公害」 草井純（札幌市） 花粉症柔軟剤で息詰まる
「朱雀」 高田獄舎 碑の文字に黒蟻あそぶ午前かな
「いのち」 衣女（旭川市） 去年今年送りし人を数へけり
「追懐」 小林道彦（札幌市） 朝練のブラスバンドや百千鳥
「野菜の春秋」 辰川英俊（砂川市） 今年こそ氷柱のようなごぼうをと
「月のうしろ」 大森三枝子（北斗市） 海霧のおし寄せてくる茶碗飯
「初蝶」 西村山憧（札幌市） 初日の出天動説に加担する
「春夏秋冬」 高間ヨシエ（幕別町） 大威なる大地の目覚め露の臺
「里の秋」 西澤カズ子（空知郡奈井江町） 廢出しのポンプの水をなみなみと
「北斗市を」 田中實（北斗市） ちるさくら一夜泊まりの通い船
「海取（かいすう）」 土門きくゑ（苫前郡初山別荘） 海取の祠守り継ぎ海人の春
「小さな旅」 水口茂（北広島市） 海明けの風を捉へて鷺雲に
「積丹の風情」 横村楓葉（余市郡余市町） 捨て雪のいのちの山の日の出かな
「北に暮らす」 安田潤子（石狩郡当別町） 初日の出終の住処とせし窓に
「移ろひ」 公春（上川郡鷹栖町） 秋暁の救急車の中の老母の手
「西暦標記」 鈴木雅美（札幌市） 釘屋の百の抽出し春兆す
「火星接近」 前田恵（旭川市） 火星接近ちりめんじゃこの目玉喰う
「マトリョーシカの腰」 樋山ミチ子（札幌市） 目覚むるもきのふのつづき春は遅遅